

チュートリアル課題 皮膚が黄色い小百合さん

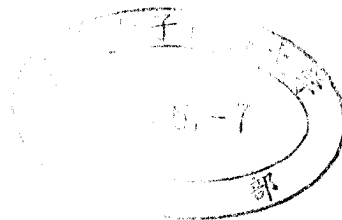
メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2009-10-16 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 東京女子医科大学 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10470/10856

2005年度

Block 3 テュートリアル課題

課題番号 6

皮膚が黄色い小百合さん



この冊子は製本時に訂正箇所を修正することがありましたのでご注意ください

消化器内科学 春田郁子

課題名；皮膚が黄色い小百合さん

シート1

大学3年生の小百合さんは、最近付き合い始めたボーイフレンドの伸一君とドライブでミカン狩りに行きました。その際の会話です。

伸一 「君、なんか皮膚が黄色くないかい？」

小百合 「やーね。そんなことないわ。でもそういえば、去年亡くなったお祖父さんが病気で入院した時、確か皮膚が黄色かったような気がするわ。何か関係あるのかしら。何だか心配になってきちゃった。」

抽出を期待する事項

1. 皮膚が『黄色い』とはどういうことか？

→カロチン血症あるいは黄疸を考える。

→黄疸のメカニズム・ビリルビンの代謝を学習する。また、黄疸の病態を学ぶ。

2. 大学3年生の小百合さんと亡くなったお祖父さん

→年令からみて、起こる可能性のある黄疸を来たす疾患の鑑別を挙げる。

シート2

ドライブの後4～5週間経ってから急に、小百合さんは、だるくて食欲がなくなり、自分でも目が黄色いような気がしてきました。加えて、尿の色も濃くなって来ました。このため心配になり、以前お祖父さんが入院していた総合病院の内科を受診しました。

抽出を期待する事項

1. それまで元気であった人が急に、だるい、食欲低下、目が黄色くなる等は何か考えられる原因があるか？
2. 急性肝炎（慢性肝炎の急性増悪も含む）の原因・症状・病態を学ぶ。

シート3

診察室に入ると、お祖父さんの主治医だった山田先生が診察して下さいました。色々で現在の症状を問診した後、山田先生は以下の様な、お祖父さんの時と同様の症状があるかも加えてお聞きになりました。

山田 「便が白っぽくなったりしませんでしたか？ 体の震えを伴うような38～39℃の高熱は出ませんでしたか？ 腹痛はありませんでしたか？」

小百合 「そういうことは、全くありません。」

答えながら小百合さんは、お祖父さんが入院中、お腹から2本の細い管をぶら下げていたのを思い出しました。問診のあと診察を受け、それから採血と尿検査にまわるように指示されました。

抽出を期待する事項

1. 病気で不安な時の人の気持ちにどう向き合うか考える。

2. 『色々で現在の症状を問診した後、』

→このケースの場合どの様なことを問診するのがよいかを考える。また、このケースに限らず医師と患者の会話をどのように進めて行けば良いか考える。

3. 『お祖父さんの年代』、『灰白便』、『悪寒・38～39℃の高熱』

→（シート1、抽出を期待する事項2と一部重複するが）閉塞性黄疸の原因・病態・治療を学ぶ。

4. 『採血と尿検査』

→黄疸の検査の進め方を学ぶ。